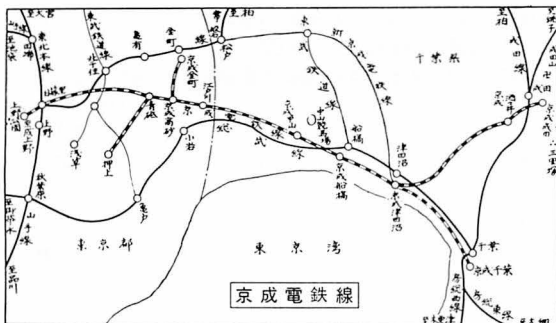


沿革 明治42・6本社を東京都麹町に置き、資本金150万円の京成電気軌道株式会社として発足、大正1・11押上・江戸川・柴又間の軌道を完成して営業開始した。その後昭和5・10筑波高速電気鉄道株式会社を合併して都心乗入れを実現、同20・2軌道を地方鉄道に変更し、さらに同年6月京成電鉄株式会社と社名を変更して現在に至る。

2 地方鉄道線 (前ページ表)



3 沿線の観光地

日本水郷、成田山新勝寺、三里塚牧場(京成成田駅)。

4 運輸概況

項 目	昭和 28	29	30
旅客輸送人員(千人)	89,191	93,097	97,741
人 口 (千)	765,728	796,620	838,955
旅客収入(千円)	1,151,459	1,201,725	1,249,522
運輸雑収(〃)	30,616	51,683	61,555
収入合計(〃)	1,182,075	1,253,408	1,311,077
営業費(〃)	1,084,283	1,184,956	1,232,633
営業利益(〃)	97,792	68,452	78,444
営業係数(%)	92	95	94

(志村幹雄)

けいそう 継送 組立駅において到着した列車に連結されている貨車を、他の列車に連結して送り出すことをいう。

操車場または組立駅においては、到着列車をすべて方向別線または駅別線で分解・仕訳するのが原則である。しかしながら鮮魚・野菜等の市場行急送品積貨車等、とくに速達を要する貨車は、中継時間を短縮して一刻も早く市場に到着させるために、列車組成および貨車集結方に指定して、着発線において継送作業を行い、特別に貨車輸送時間の短縮を図る。この作業を特殊継送という。

組立駅において特殊継送を行う貨車は、鉄道管理局長が貨車集結方によって指定したものにきざられる。この貨車を特殊継送車という。

この作業は到着線に到着した列車の特殊継送車を、ただちに出發線に入換えて、指定された列車の前部または後部に連結して発車させる。この場合にはわずかに30分程度の中継時間で貨車を中継することができるが、本線を使用して入換を行うので、入換作業は複雑で、かつ種々の制約が多い。(山岸勘六)

けいそうえき 継送駅 鉄道電報の通信に際し直通回線のない駅区相互間に往復する電報は、継送駅または中継駅を経由することを鉄道電報規程で定め、鉄道管理局所在地の電務区を継送駅に指定してある。継送駅は自鉄道管理局管内全域をその所属区域とし、その区域内発着の電報および所属区域外に往復する電報を中継する。なお中継駅は所属継送駅に直通回線がない駅区に往復する電報を中継し、これに必要な駅区を中継駅に指

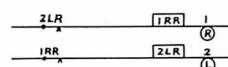
定してある。(関根辰雄)

けいぞくじょうしゃせん 継続乗車船 旅客がその所持する乗車券の通用期間中に旅行を開始し、途中駅で下車船することなく、継続して乗車船する状態をいう。この継続乗車船中は、その旅客の所持する乗車券の通用期間が経過した場合であっても、その乗車券を有効として取扱うことが認められている。この場合途中駅で下車船した場合は、継続乗車船が中絶されるので、前途無効として乗車券は回収されるが、接続駅において設備または時間の関係上、旅客を一時出場させて、列車・汽船または自動車の接続のための待合わせをさせるときは、指定した列車・汽船または自動車の乗継ぐ場合にかぎって、下車船とみなさないうで、前途に対してその乗車券を有効として取扱うこととしている。(平林喜三造)

けいでんれんどうき 継電連動機 (英) relay interlocking

継電連動装置に使用される制御盤と継電器群の総称。継電連動装置の方式はてこ相互間の鎖錠

1. 継電連動装置原理図

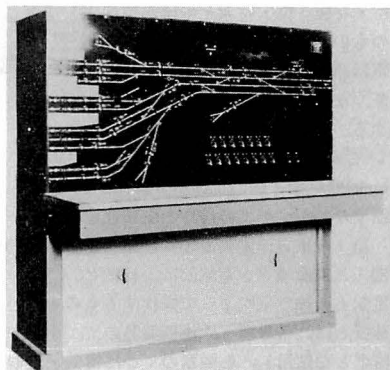


を継電器を利用して、これら継電器の接点相互間で電氣的になされるものであって、その簡単な原理は図-1に示すようなものである。すなわちてこ1を反位②にするときは、てこ2が定位すなわち継電器2LRが動作していないことを照査して1RRが動作し、したがってそののちにおいては2を反位①にしても継電器2LRは動作しないで定位の状態を継続するようになる。同様に先に2を反位にすれば1は定位に鎖錠されて、相互に定位の連鎖関係が保たれることがわかる。これらの作用によって所定の転轍器を動作し、さらに信号を制御すること、また継電器によって定位になされることが最大の特長である。継電連動装置には進路てこ式と進路選別式とがあり、前者の進路てこ式は1つの進路に原則として1個のてこを設けて、これを反位にすることによって所要転轍器を総括的に制御し信号を現示する方式で、後者の進路選別式は進路の入口にてこを、また出口には押ボタンを設けてこれらの共同取扱により進路を選出して、前者と同様総括制御する方式である。以上いづれも進路に関係するすべての転轍器を同時に総括的に制御するもので、転轍器ごとにてこを順次に取扱う必要がない。したがって信号を現示するまでの時間が転轍器の数にかかわらず常に一定で、ほぼ6~7秒程度で、きわめて作業能率がよい。継電連動機は以上の目的に使用する制御装置で、制御盤と継電器群との相互間および継電器相互間にはそれぞれ電線をもって接続され、所定の連鎖関係および制御・表示等を行うものである。

1 制御盤

ピアノ型またはデスク型のもので、簡単なものでは卓上型のものがある。その構造はだいたいつぎのとおりである。

(1) 進路てこ式 制御盤面は停車場の配線略図が画かれた照明軌道盤となっ



2. ピアノ型継電連動機制御盤